

“提案力”を高める 女性目線で日常生活を演出 和信ペイント

和信ペイントは8月下旬、幕張メッセで開催された「JAPAN DIY HOME CENTER SHOW2013」に出展した。今回、同社がテーマに据えたのは「DIY女子のお洒落な日常作りの応援」。

昨年に続いてコラボしたDIY女子部との計6回のワークショップはすべて満員。また自らもDIYファンである女優・中田喜子さんとのトークライブにも多数の来場者が集まるなど、徹底した女性目線でDIYペイントの魅力をアピール、会場は終始女性の華やかな雰囲気に包まれた。

これまで木工ニス製品を主力に教育関係分野やホームセンターで強みを発揮してきた同社にとって、女性へのアプローチは新たな試み。この数年、DIY女子部と連携したペイント体験教室や移動展示車「ガードラック号」を活用したイベント活動を積極的に展開。直接消費者と触れる機会を増やすことが開発から営業

に至る全社的底上げにつながるのの方針に根差している。

深澤筑紫社長は「新製品を開発しても、それがストレートに売り場に反映されるわけではない。限られたスペースでいかに存在感を発揮できるか。ホームセンターや消費者から選ばれる製品にするためにも我々の提案力を上げるしかない」と力説する。同社では、バイヤーや消費者に直接PRできるこの展示会を絶好の機会と捉え、来場者と交流を持つイベントを充実させることでブランド強化につなげたいとの狙いがある。



DIY女子部共同ワークショップ



女優・中田喜子さんのスペシャルトークライブ

またDIYショーの中で開催されたその年の優れた新製品を評価する、日本DIY新商品コンテストでは「水性カラーフローリング用ニス」がDIY協会会長賞を受賞。昨年の「水性工芸うるし」の経済産業大臣賞受賞に続き2年連続の入賞となった。

同社は今秋から木材保護塗料「ガードラックラテックス」「ガードラックアクア」0.7kg缶のパッケージデザインを刷新。加えてQRコードを貼付し、携帯電話やスマートフォンを通じて塗り方動画を確認できるサービスを開始する。ホームページと連動した情報サービスも強化していく意向を示す。

専門分野の強みを生かしながら、女性の意見を取り入れ、新製品開発、塗り方提案を行っていく。新たな顧客層の開拓へと推進力を高めている。